

■第13回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（ダンス・歌唱部門） 【参加チーム演技情報】

ブロック	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト	チーム紹介	参加回数	本大会 出場実績
北海道・東北	山形県	惺山高等学校	歌唱	新しい扉を開ける初めの一手	この楽曲は、山形県寒河江市で開催されているふれあいコンサートのイメージソングです。コロナ禍を経てコミュニケーションをとる機会が薄れ、SNSで代用することが多くなってきました。地域に住む方々とのあいさつも希薄になってきました。この「ふれあいの歌」では、初めて会う人とのあいさつを「壁」ではなく「楽しみ」として伝えられるように構成を考えました。すれ違う人、初対面のキャストが、歌詞が進むにつれて笑顔で挨拶ができるようになっていく。このような演技を歌唱の中で表現していきます。	インターアクト部では、献血啓発や服のリサイクル、地域ボランティアに積極的に参加しています。今年は手話の力を伸ばすことにも力を入れ、より多岐にわたる社会貢献ができるように取り組んでいます。	初	－
関東	群馬県	ぐんま国際アカデミー 中高等部	ダンス	High Hopes	私たちの演技では、「夢を追いつける勇気」と「仲間と支え合う力」を手話ダンスで表現します。一人では乗り越えられない壁も、仲間と励まし合い、高い希望を胸に挑戦し続けることで乗り越えられるというメッセージを届けます。手話一つひとつに想いを込め、観てくださる方々が自分自身の夢や未来に希望を持ち、前向きな気持ちになれるような演技を目指します。私たちも高校生活の中では、不安や葛藤、思い通りにいかないことも数多くあります。しかし、そんな時こそ仲間の存在が支えとなり、互いに励まし合いながら前へ進むことができます。この演技を通して、夢に向かって挑戦し続ける勇気と、支え合うことの大切さを伝えたいと思います。	私達は、群馬県の学校に通う高校生3人組です。ダンスを通して手話を子供たちに教えるという活動をしてきました。その活動と特異な英語を生かし、英語の曲を使用した手話ダンスに挑戦します。	2	－
関東	埼玉県	大川学園高等学校	歌唱	手話コーラス 「キセキ」	部員の好きな歌や多くの人から愛される歌を、自分達らしく表現する。	こんにちは！大川学園高等学校手話コーラス部です。現在は部員が1名しかいませんが、勇気を出して応募しました。「好きな歌を自分らしく」表現するため、日々練習に励んでいます	6	－
関東	東京都	南葛飾高等学校	ダンス	子どもも大人も、 手話！しゅわ！シュワー！	バングラデシュとフィリピンとネパールから来た私たちが、小さな子どもから大人まで、様々な世代の人と一緒に手話を楽しみたい！と心を込めてパフォーマンスします。母国でも見ていた『わんだふるぷりきゅあ！』、エモい若者の気持ちを歌った『オトナブルー』、中国人部長おすすめの『時の流れに身をまかせ』。この3世代の曲をメドレーにしました。日本語、手話、英語、中国語。4つの言語を行ったり来たりした大冒険の末に、完成した大切な作品です。「世代」と「国籍」と「言語」の壁を、手話のパワーでぶわーっと超えるパフォーマンス！観てくださる全ての人へ、私たちの弾ける楽しさが優しく届きますように！	こんにちは。キャプテン翼で有名な南葛飾高校の南葛JRCです。バングラディッシュ、フィリピン、ネパール出身の3人が、笑顔と手話で心をつないで挑戦します。よろしくお願いします。	2	○
関東	東京都	豊南高等学校	歌唱・ ダンス	全員が主人公♡	←ふざけてません！一曲目の楽曲には、「あきらめるな！」というメッセージを込めました。人は一人一人が何にだって挑戦することができます。ただ挑戦する前に諦めてしまっていることが多く、そんな自分達やそして同じように挑戦を諦めてしまっている「君」へ、エールを送ります。二曲目ではそれぞれの個性が大切だというメッセージ性から「チグハグ」という楽曲を選びました！一見、ばらばらでチグハグに見えるけど、一人一人が違っていて全員が人生の主人公です。そんなハートフルな気持ちから、「♡」をタイトルに入れました。そしてそんなチグハグなメンバーが集まって1つの作品になった僕たちを一人でも多くの方に見てもらいたいです！	「楽しむ」ことを第一に、持てる力すべてを発揮し、そこに周りを巻き込んでしまおう、それが僕らです！誰もが自分の世界の主人公！どんなのだって良いんだ！自分らしさとはつまり、主人公らしさだと思うから！	12	○
関東	神奈川県	中央高等学院横浜校	ダンス	Tomorrow Is Another Day	友達や家族とのちょっとした喧嘩、自分自身の気持ちと戦うなどのいくつもの壁にぶつかり、時に挫折も感じる日常。それでも、自分の中で沢山の葛藤を抱えながらも少し笑ってみようと思う。そうすることでくだらない、つまらないと感じていた日々がまた楽しいと思いはめるのではないだろうか。そんな日常での気持ちの変化をダンスと表情・手話などで、前半は細かい気づきや希望を描き、後半はワックダンスも混ぜて全身で喜びや楽しさを表現する。そしてその溢れる前向きな思いを今のあなたに伝える。パフォーマンスを見てくれている一人ひとりの心に寄り添い、あたたかい余韻を残すような演技を届けたいと思う。	初挑戦のソロパフォーマー。ジャズダンスの流れのような動きに合わせ、そして表情に気持ちを乗せて踊ります。『胸に刺さるような』『誰かの心を動かせるような』そんな思いを込めて心に響く演技を目指しています。	初	－
中部	福井県	啓新高等学校	ダンス	夢を追う人へ	日々の生活で迷いや不安を抱える人、自分に自信が持てない人、そしてステージに立つ私たち自身を応援する気持ちを込めて表現します。歌詞にある「あと一粒の涙、ひと言の勇気」で明日を変え、願いを叶えることができると信じて、希望のメッセージを全身に込めてパフォーマンスします。	私たちは普段7人で活動しています。手話初心者がほとんどですが、日々の練習やボランティア活動を通して、皆で楽しく学んでいます。私たちのチームワークと、手話へのまっすぐな想いをご覧ください！	12	－
中部	静岡県	吉原高等学校	ダンス	ぼくときみの「らしさ」	「自分と心の中の自分が、『自分自身』に縛られながら、自分らしさを見つけていく」ストーリーをコンセプトにパフォーマンスをします。最初は心の中の自分が、周囲が決める「その人らしさ」や「自分の短所」に目がいってしまう。その度に主人公は、自分を見失い、気持ちを抑え込んでしまいます。批判的思考・葛藤ばかりを繰り返して挫折する時期を表現しています。自分には「もっと挑戦したい」「誰にも負けたくない」気持ちはあるのに、現実とのギャップと心の中の自分が邪魔をする…。そんな葛藤を抱えながら物語が進み、終盤は、「自分の素直な感情や考え方は、熱量になる大切な気持ちだった」「この葛藤に出会えたから自分自身を再確認できた」と気がついていきます。今までの自分の葛藤や短所も「かっこ悪い」なんて思わず、本当は“それ、が「自分らしい要素」だという物語を手話とダンスで表現します。	ダンスも手話も初心者の15人が挑みます！「自分らしさ」をテーマに、1から振りつけを考え、各々の個性とアイデアを詰め込みました。自分を信じる元気が届きますように！	3	－
中部	愛知県	同朋高等学校	歌唱	パブリカ！	私たちは、歌詞と曲の朗らかさを大切にしながら、「パブリカ」の世界観を表現します。歌詞の意味を深く考え、一つ一つの手話に思いを込めるだけでなく、視線や表情、身体の動きを組み合わせることで、手話ならではの豊かな表現を目指します。見てくださる方が歌詞の情景や気持ちを自然に感じられるよう、心をつづにして演技します。	今回が初の申し込みとなります。ダンス・歌唱部門に「パブリカ」でエントリーしました。4月に入部した1年生と2人で一生懸命練習しています。曲の楽しげな雰囲気を伝えられるよう頑張ります。	初	－

■第13回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（ダンス・歌唱部門） 【参加チーム演技情報】

ブロック	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト	チーム紹介	参加回数	本大会出場実績
中部	愛知県	安城生活福祉高等専修学校	歌唱	大切な人へ届け！手話コーラス	本作品は、Mrs. GREEN APPLEの『ダーリン』が持つ軽快なリズムと、歌詞に秘められたちょっぴり切なくも愛おしい「不器用な恋心」からインスピレーションを受けました。日常の何気ない瞬間の中で膨らむ「あなたが好き」という真っ直ぐな気持ち。それを、時に弾むようなリズムに乗せ、時に感情を込めた繊細な手話と豊かな表情で全身全霊で表現します。このパフォーマンスを通じて、客席にいる大切な人、そして支えてくれたすべての人へ、「いつもありがとう。あなたが愛おしい」という心からのメッセージを届けます。観る人の心に温かいステップが刻まれるような、愛に溢れたステージをお届けします。	安城生活福祉高等専修学校福祉クラブです！美容、保育、調理、介護、ファッションなど異なる夢を持つ仲間が集まりました。普段の地域ボランティアで培った笑顔とチームワークで、心に届く手話コーラスを披露します！	9	－
近畿	滋賀県	彦根総合高等学校	歌唱	いくら貰っても代えられない、私の大切な人生。どう生きるかは自分次第！	私たちには、一人ひとり異なる未来や夢、そして無限の可能性があります。その価値は、お金では決して換算できないほど尊いものです。今回のパフォーマンスでは、ご覧いただく方々に元気や勇気を届けたいという思いを込めました。また、介護福祉を学ぶ私たちだからこそ、「老化するとはどういうことか」を手話で表現したいと考え、このテーマを選びました。人それぞれに歩む道がありますが、その可能性や夢は誰かに評価されたり否定されたりするものではありません。そんな思いを大切にしながら、心を込めて表現します。	私達の学校は、総合学科で2年生から各系列に分かれて勉強をしています。介護福祉領域では高齢者や障がい者への支援方法を学び、介護の知識や技術、福祉の心を身につけます。手話もテーマを決めて取り組みました。	2	－
近畿	京都府	山城高等学校	ダンス	自分という名の物語	「自分らしくあること」と「友情・絆」をテーマにしたエンパワーメントソングを使い、1人1人が仲間を信じ、自分らしさを大切にしながら前へ進む姿を表現します。失敗を恐れず、何度転んでも諦めずに挑戦し続ける強さや、仲間と支え合うことで困難を乗り越え、成長していく過程を演技を通して伝えます。観る人に勇気や希望を届けられるような演技を目指します。	ダンスも手話も初心者ของทีมです。そんな私たちだからこそ、仲間と支え合いながら一つ一つの手話に思いを込めて作り上げました。誰かの背中を押せるような演技になるよう、精一杯演じます。	2	－
近畿	京都府	京都八幡高等学校 南キャンパス	ダンス	365日の紙飛行機	『365日の紙飛行機』には、人生は紙飛行機のように思い通りに飛ぶことばかりではなく、失敗や迷いを繰り返しながら少しずつ前へ進んでいくという思いが込められている。私たちはこの曲を通して、自分から一歩踏み出して行動することの大切さを表現する。日々の生活の中では、「誰かがやってくれるだろう」と考えてしまうことがあるが、その「誰か」になる勇気を持つことで、人を支えたり、周りを笑顔にしたりすることができる。この発表を通して、見る人に行動する勇気と思いやりの大切さを伝え、誰かのために一歩踏み出すきっかけを届けたい。後半は「きょうちゃん」（京都府高文連マスコット）も参加し、京都らしさも表現したい。	私たちボランティア部は、「誰かがやってくれるだろうの誰かになる」をモットーに活動しています。今回は、一人ひとりの個性や夢を大切にしながら、自分らしく未来へ歩む姿を「きょうちゃん」と共に表現します。	9	○
近畿	大阪府	久米田高等学校	ダンス	HOPE（愛に包まれて）	私たちは高校生は日々あふれるSNSの情報の海にいます。いい評価・だめな評価、気がつけばそんな評価を気にする自分がいて苦しくなります。自分が自分を大切にしたい、そして自分を認める強さを誰もが持てる世界にしていきたい。その最初の一步をこの作品にします。どんなときにも自分の味方でいてくれるママへの感謝をそして大きな愛で包まれている自分の存在を確認します。これからの未来を作る私たちの希望をお伝えます。	私たちは今年で4回の出場となります。作品を作る過程で「だいせん聴覚支援学校」の仲間や岸和田市聴覚障害者福祉会の皆様とのつながりができました。今年もその仲間との交流を楽しみながら挑戦します。	4	○
近畿	兵庫県	甲南女子高等学校	歌唱	手のひらで歌う夏	主人公はキラキラした高校生活や青春は自分には関係ないと思っていた女の子。部活動を頑張ることに遊びにいくことにも抵抗があった。そんな彼女に部員がある提案をする。「全国手話パフォーマンス甲子園に部員みんなで参加した！」初めて本気で打ち込めるものを見つけた気がした。それから毎日みんなであ練習に励んだ。時に行き詰まり、傷つき疲れることもあったが、それでも仲間と共に過ごした時間は彼女にとってかけがえのない愛しい思い出になっていく。ある目標に全力で挑む私たちの青春の物語を皆さんにお届けします！！	こんにちは！私たちは、甲南女子高等学校のJ.R.C.部からきた2年生の6人組です！初めての参加でわからないことだらけでしたが、喧嘩しながらもみんなで作り上げました！	初	－
中国・四国	鳥取県	鳥取聾学校・鳥取城北高等学校	ダンス	サインエール	東京2025デフリンピックで誕生した、視覚で届ける新しい応援スタイル「サインエール」その熱気を東京の陸上会場にて肌で感じた鳥取聾学校の生徒たちが、3つのサインエールを鳥取城北高校応援チア部へと繋ぎます。「デファスリート目のには、どんな応援に響くのか」両校の生徒たちは対話を重ね、チアの躍動感と手話表現力を融合させた「目で見て感じる応援」を模索してきました。言葉の壁を越え、互いの想いを分かち合いながら作り上げてきました。情熱がぎゅっと詰まった初めての協働パフォーマンス。鳥聾と城北、二つの個性が一つのチームとして響き合い、心に届くエールを送ります。	鳥取聾学校と鳥取城北高等学校の初めての「協働」パフォーマンスです。共に伝え合い、関わり合うことでそれぞれの想いがたくさん詰まった楽しいパフォーマンスになりました。みんなで手話を盛り上げます！！	聾：11 城：13	○
中国・四国	鳥取県	米子東高等学校	ダンス	この瞬間（とき）、風が思いをつなぐ	私たちは「この瞬間（とき）、風が思いをつなぐ」をテーマに「風が吹いている」という曲を手話ダンスで披露します。この歌詞には、全員に平等に吹き抜けていく風のように、人種、性別、障がいの有無など関係なくみんながそれぞれもっている悩みや喜びを共有し合いたいという思いが込められています。私たちはみんな共に生きていくため、それぞれの悩みや喜びを共有し合うことでみんなが笑顔になり、その笑顔もみんなで分かち合いたい、また分かち合うことでより良い世界になるという思いが皆さんに伝わるように表現します。	私たちは「この瞬間（とき）、風が思いをつなぐ」をテーマに「風が吹いている」という曲を手話ダンスで披露します。みんながそれぞれもっている悩みや喜びを共有し合いたいというメッセージを伝えます。	9	○
中国・四国	鳥取県	米子松蔭高等学校	ダンス	重力の向こうへ	昨今の、降り続く雨、変わっていく気候、それらが原因で沈んでいく街。自然の前においては小さな存在である私たちの無力感。この作品は、そのような未来への不安や現実の重さに立ちすくむ私たちが、迷いの中でも仲間と心を重ね、一歩ずつ空へ向かっていく物語です。人間の願いや選択では簡単に動かせない「世界のもの」の「重さ」を、体の沈みや揺れ、手話や視線で表現し、最後は「解放」と「飛翔」へと向かっていくダンスで伝えます。人類共通である「重力」。その向こうにある希望を、全身で描きます。	私たちはダンスを通して、観てくださる方々に感動してもらえるよう毎日練習に励んでいます。今年1月6日に起きた地震で、被害に遭った鳥取県西部の山間地域を訪ね、応援ダンス動画を作成し、全国へ発信しました。	3	○

■第13回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査会（ダンス・歌唱部門）【参加チーム演技情報】

ブロック	都道府県	学校名	演技の分類	演技タイトル	演技コンセプト	チーム紹介	参加回数	本大会 出場実績
中国・四国	岡山県	岡山県美作高等学校	歌唱	虹	幼い時から親しんできた虹の楽曲をピアノ演奏に合わせて歌いました。空に虹がかかる様子、気持ちが晴れやかになる様子を表情豊かに表現することを気を付けて行いました。高齢者施設や保育園や小学生との交流の時に手話を共に楽しみながらノーマライゼーションの推進とインクルーシブな社会が実現するように願いを込めて歌っています。	私たちは、高校で福祉を学んでいます。聴覚に障がいがある人も、ない人も共に支え合って生きていくことができる社会になってほしいとの願いを込めて「虹」の歌を歌いました。	9	－
中国・四国	広島県	戸手高等学校	ダンス	備後絃音頭	日本三大絃の一つでもある「備後絃」は、藍の香りと木綿の温もりをもち、私たちが住む新市町に心の故郷として輝き生きています。「備後絃」は江戸末期、富田久三郎の文久絃が始めとされ、以後、発展・変遷してきました。「備後絃音頭」は、昭和27年戦後の混乱のあとの地域の団結と更なる地場産業の発展を願って生まれました。私たちは総合的な探究の時間に認知症の方や地域の方が笑顔で交流できる場として、運営主体を高校に設置した広島県初の高校生が運営する認知症カフェ（戸手高校カフェ）を月1回開催しています。そこで郷土の誇りである備後絃音頭を6人で唄い踊り継ぎ、手話を通して人づくり、地域づくりの輪を広げたいと思います。	私たちは、認知症の方や地域の方々が集い笑顔で交流できる場として認知症カフェ（戸手高校カフェ）を月1回開催しています。そこで郷土の誇りである備後絃音頭を6人の手話を通して人づくりの輪を広げたいと思います。	初	－
中国・四国	香川県	高松南高等学校	歌唱	ずっと変わらない友情	今回の作品は、「違いを認め合い、共に生きる」ことをコンセプトにしています。素敵な歌にのせて、耳が聞こえる人と聞こえない人が出会い、手話を通して友情を育んでいったのに、互いを理解しきれず対立してしまい、相手のことを考え思いを伝えあうことで、再び共に笑顔で歩んでいくようになった姿を表現したいと思っています。聞こえる、聞こえないという違いを越え、互いを理解しようとし、認め合いながら生きていける社会になるようにという思いを込めて表現しました。	私達は手話で伝え合う楽しさと人とのつながりを広めるチームです。今年度からは聴覚支援学校との交流を増やしており、より伝わりやすい表現などを学び、手話の輪を広げていきたいと考えています。	8	－
九州・沖縄	福岡県	立花高等学校	歌唱	それで、よかよか🍀	生徒が作詞、校長が作曲をして完成した本校の校歌を、世に言う当たり前は当たり前ではなく、だれもが頑張っていること、誰しも不安であることに気づき、互いにそっと優しさを持ち寄ることができる社会になればという希望を込めて歌います。1番は新入生に、2番は在校生に、3番は卒業生にあてた歌詞です。それぞれの時期に抱える悩みや不安に焦点をあて、「みんな、一人ではないんだよ」、「自分のペースでいいんだよ」というメッセージを伝えたいです。新入生、在校生、卒業生、校長役の4名で4月の入学式、1年後の春の様子を表した校歌の1番、3番の手話歌と演技で動画を作成しました。	楽しいときも苦しいときも手を取り合い、自他を認め合って「自分のペースで大丈夫」と言い合える関係性。ゆる～くあったかい立花高校の雰囲気のパフォーマンスを通して皆さんに届けられるよう全力で表現します！	2	－
九州・沖縄	福岡県	三井高等学校	歌唱	青春の光	私たちの学校がある小郡市は、福岡県の中央部に位置しています。市内は住宅街と田園地帯が共存し、緑あふれる美しい街です。また、古くから歴史と文化が息づいており、私たちが学ぶ三井高校も松崎城址に建っています。私たちもこの地で、学んでいることに誇りを持っています。今回、披露する「おごおりの光」という曲は、市政施行50周年を記念して作成されました。歌詞に「いつでもいつまでもここに帰っておいで あなたの明日を照らす ここおごおりの光」という部分がありますが、私たちのふるさとであり、私たちの青春の1ページである小郡市の中で、私たち自身が輝き、周りを照らす光になりたいという思いを込めています。	私たちは、三井高校ボランティア部です。地域のステージで手話ソングを発表した経験を活かし、私たちらしく、明るく元気に、歌詞の意味や私たちの熱意が伝わるように頑張ります。応援よろしくお願いします！	12	○
九州・沖縄	佐賀県	太良高等学校	歌唱	身近な民謡「岳の新太郎さん」	民謡「岳の新太郎さん」は、校歌にもある「西にそびゆる多良岳」「東に広がる有明（海）」とともに、地域の人々に長く親しまれてきました。毎日お昼の12時（3時間目の授業中）には、町内にその優しくて温かい、思わず口ずさみたくなるメロディが流れ、私たちにとっても完全に生活の一部になっている身近なものです。演技前半では語りと手話で、現代の女子高生が感じる民謡の魅力と、いつの時代も変わらぬ異性への憧れ、後半は歌唱と手話で、民謡に込められた情景や親しみ、そして新太郎さんを慕う人々の愛しさを表現します。地元にも古くから受け継がれてきた民謡を大切にし、その魅力を次の世代へもつないでいきたいという願いを込めて演じます。	令和8年度、太良高校は創立50周年を迎えます。特色あるカリキュラムの中で「手話」を週2時間学んでいます。私達11名の授業選択者は、地元で長く愛され、佐賀県内で最も有名な民謡「岳の新太郎さん」に挑戦します。	初	－